

The Development and Application of Taste Sensor Using Lipid-Impregnated Membrane and Strongly Hydrophobic Lipid Polymer Membrane

巫, 霄

<https://doi.org/10.15017/1931937>

出版情報：九州大学, 2017, 博士（工学）, 課程博士
バージョン：
権利関係：

氏 名	巫 霄
論 文 名	The Development and Application of Taste Sensor Using Lipid-Impregnated Membrane and Strongly Hydrophobic Lipid Polymer Membrane (脂質含浸膜及び疎水性の強い脂質高分子膜を用いた味覚センサに関する研究)
論文調査委員	主 査 九州大学 教授 都甲 潔 副 査 九州大学 教授 林 健司 副 査 九州大学 教授 末廣 純也

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は、脂質含浸膜及び脂質高分子膜を用いた味覚センサを理科教育、農薬検知、苦味定量化という幅広い分野において利活用できるよう、味覚センサの大幅な改善に成功したものであり、今後の応用展開可能性も高く、電子情報工学上価値ある業績である。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。